

衛生研究所WEBページ情報

(アクセス件数・順位 21年度12月分、電子メールによる問い合わせ・追加・更新記事 21年度1月分)

横浜市衛生研究所ホームページ(衛生研究所WEBページ)は、1998年3月に開設され、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を提供しています。

2008年4月、市民にわかりやすくかつ迅速な情報提供を目指して、リニューアルを行いました。

今回は、2009年12月のアクセス件数、アクセス順位及び2010年1月の電子メールによる問い合わせ、WEB追加・更新記事について報告します。

なお、アクセス件数については行政運営調整局IT活用推進課から提供されたデータを基に集計しました。

1 利用状況

(1) アクセス件数 (2009年12月)

2009年12月の総アクセス数は、185,627件でした。主な内訳は、感染症58.8%、食品衛生12.9%、保健情報16.2%、検査情報月報2.8%、生活環境衛生1.2%、薬事1.6%でした。

(2) アクセス順位 (2009年12月)

12月のアクセス順位(表1)は、第1位が「大麻(マリファナ)について」、第2位が「MDMA(通称:エクスタシー)について」、第3位が「マイコプラズマ肺炎について」でした。

第1、2位に大麻(マリファナ)、MDMA関連の記事が入りました。これは、合成麻薬MDMAを服用した女性が異変を起こしたにもかかわらず、救命措置をせずに死亡させたなどとして、東京地検は12月25日、保護責任者遺棄致死と麻薬取締法違反の罪で、容疑者を追起訴しました。

同罪は裁判員裁判の対象で、公判は裁判員裁判で行われ、有名芸能人を裁く初めての裁判員裁判になるとみられることもあって、関心が高かったことが原因と思われます。

第3位に「マイコプラズマ肺炎」が入りました。

マイコプラズマ肺炎の定点あたり報告数は、第49週(11/30～12/6)、第50週(12/7～13)は増加しましたが、第51週(12/14～20)、第52週(12/21～27)と2週連続で減少しました。

新型インフルエンザ関連情報については、流行期にアクセス数も多かったですが、年末年始の期間であったためか、インフルエンザの流行のピークが過ぎ、終息基準値の10を下回り、流行期と比較してアクセス数は減少しています。

しかし、インフルエンザの流行は例年1月から3月がピークとなっているので、今回の流行の終息については、今後もしばらく患者数の推移を見ていかないと判断はできないものと考えます。

表1 2009年12月 アクセス順位

順位	タイトル	件数
1	大麻(マリファナ)について	7,990
2	MDMA(通称:エクスタシー)について	7,935
3	マイコプラズマ肺炎について	6,803
4	感染症発生状況	4,476
5	梅毒について	2,425
6	B群レンサ球菌(GBS)感染症について	2,331
7	性器ヘルペス感染症について	2,206
8	2009(平成21)年度の季節性インフルエンザワクチンについて	2,058
9	インフルエンザ情報	1,964
10	HIV感染症について	1,922

データ提供:行政運営調整局IT活用推進課

(3) 電子メールによる問い合わせ (2010年1月)

2010年1月にホームページのお問合わせフォームを通していただいた電子メールによる問い合わせの合計は、2件でした(表2)。

表2 2010年1月 電子メールによる問い合わせ

内容	件数	回答部署
災害用保存水について	1	衛生研究所(水質担当)
合成着色料について	1	衛生研究所(食品添加物担当)

2 追加・更新記事 (2010年1月)

2010年1月に追加・更新した主な記事は、7件でした(表3)。

表3 2010年1月 追加・更新記事

掲載月日	内容	備考
1月5日	ウエストナイルウイルス(蚊)の検査結果	追加
1月12日	感染症に気をつけよう(1月号)	追加
1月12日	ロタウイルスによる感染性胃腸炎について	更新
1月15日	ヒト-パピローマウイルスと子宮頸癌について	更新
1月15日	アデノウイルス感染症について	追加
1月21日	横浜市インフルエンザ等流行情報 13号	追加
1月29日	高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の発生状況	更新

【 感染症・疫学情報課 】